

大池川・有馬富士から千丈寺湖を尋ねる

第59回 武庫川エコハイク
2012. 3. 10. エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km² 篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の7市1町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える2級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

2級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第10位である。「阪神間の母なる川」である。上流から三田盆地までは緩やかに流れ、中流には武庫川渓谷でV字谷になる一風変わった川である。この渓谷は六甲山の隆起とともに武庫川に洗刻された先行河川である。ここに県営ダムを作る計画があったが豊かな自然環境を破壊することで反対する市民運動が持ち上がり、県は流域住民を含めて武庫川流域委員会を設置して2年半にわたり協議した結果、22年10月、ダムは検討に時間がかかることから、20年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなり、平成23年8月正式に決定された。

JR新三田駅 昭和61(1986)年福知山線の複線電化とともに新設された。北摂三田ニュータウンの人口増に対応したもの、三田駅と同様の乗客数がある。

大池川 有馬富士周辺から福島大池を経て流下し新三田駅北側で武庫川に合流する。

福島 稲荷神社の七福神にちなんだ地名といわれる。お旅所は稲荷神社の祭礼用。

福島大池用水 奈良時代、僧行基が築造した福島大池からの水を灌漑用水として武庫川左岸に導水されている。三田盆地に旱魃があって米の収穫ゼロという年でも、この地方はこのおかげで干害はないという。「福島は三田の稲の種取り場」といわれた。

有馬富士 標高 374m。有馬温泉からも遠望が富士山に似ていることから有馬富士と呼ばれ、摂津名所図会にもある。有馬名所六景のひとつで、古くから歌などに詠まれた。流紋岩の侵食の結果形成された。

福島大池 奈良時代の僧行基が築いたといわれる灌漑用のため池。

丹波街道 三輪神社から川除(かわよけ)を経て東野上にいたる。

青龍寺 行基菩薩開基。本堂に国重要文化財の如意輪観音坐像がある。南北朝時代の名僧夢窓国師が滞在したともいう。この丘に城ヶ岡城があったといわれる。

滝のつぼ 福島大池の水を武庫川左岸に導水した堰。

県立有馬富士公園 県下最大の都市公園。平成13年4月開園。開園面積175ヘクタール、計画面積416ヘクタール。メイントランスから福島大池をかこむ「出会いのゾーン」、有馬富士を中心とする「ふれあいゾーン」、千丈寺湖南側の「休養ゾーン」、千丈寺湖と有馬富士との間にある森林は「森林ゾーン」。

三田市立有馬富士自然学習センター 県立公園内にある学習施設。

流紋岩の露頭 福島大池の放水部にある。流紋岩の大きな露頭。

わんぱく岩 有馬富士登山道にある岩場。流紋岩から成る。

市立有馬富士共生センターと大芝生広場 平成17年第29回全国育樹会会場の跡地を利用して建設された。里山の利活用の拠点。大芝生広場は育樹祭のメイン会場となった広場。

コベルコ自然環境保全基金の助成を受けています

花山院 東光山菩提寺、真言宗の寺院、白雉2(651)年法導上人が開祖と言われ、薬師如来が本尊。西国三十三所再興の祖花山法皇が寛和2(986)年当寺に入山された。花山法皇の菩提寺で西国三十三所観音霊場の番外札所。展望はすばらしい、標高約380m。

尼寺(にんじ) かつて花山法皇を慕ってきた女官たちが尼になって、ここに住んだことから尼寺(にんじ)の名がついたといわれる。麓に法皇の後康熙妃と女官たちの墓が残る{十二妃の墓}。

千丈寺山 標高 589m この山に千丈山正福寺の修験道場があったが、明智光秀により焼討ちにあい、消滅したという。

ドコモ兵庫三田の森 NTTドコモがそのCSR国有林の林野「法人の森林」制度で平成20(2008)年に開設されて社員のボランティアが兵庫県の支援を受けながら整備している。

青野ダム 青野ダムは兵庫県が洪水調節、流水の適正流量の確保(農業用水など)、上水道用水の供給の目的とした多目的ダムとして、青野川と黒川の合流点に昭和58(1983)年に着工、昭和63(1988)年に完成した。三田ニュータウンへの上水の供給が可能となり、下流の洪水被害も軽減できるようになった。平成23年の武庫川治水整備計画では予備放流により40万m³洪水調節要領を増加することになっている。

ダムの規模 集水面積 51.8ヘクタール 堰堤高さ 29.0m(標高186m) 堤長 286.1m 湛水面積 2.15百万m²、貯水容量 14.1百万m³ 貯水池容量の配分内容 利水容量 9.3百万m³、洪水調節容量 5.4百万m³(重複容量80万m³)

水没地域 面積 248.9ヘクタール 水没戸数 87戸

青野ダム多自然型魚道 ダムと下流(水位差21m)を魚道で結び、魚が上りやすい川づくりのため設置された。①生態系創生機能、②魚類の遡上機能、③親自然公園機能を併せ持つようにしている。総延長726m、総落差18m、河床勾配1/15~1/150

ダムサイト公園のモニュメント ダムサイト公園には三田市の作家故新宮晋氏の動くモニュメント「水の木」と「星の立像」がある。

市立青野ダム記念館 青野ダム完成を記念して建設された三田市立の施設。ダムサイト公園内にある。内部には周辺地域から多数出土した須恵器などの埋蔵文化財、ダム建設に係る資料も展示されている。

双子塚古墳 6世紀後半の横穴式遺跡で2個並んでいる。

須恵の丘 この辺りは「末」と呼ばれるが、これは「須恵器」の「須恵」から来ているといわれる。古墳が多く、東仲古墳、岡の谷古墳、双子塚古墳がある。6世紀中から末の古墳である。

母子大池の灌漑用水 母子大池の灌漑用水がこの高地を潤す。末野大池は平地に設けられた皿池である。

丹波街道 東野上から加茂を経て藍本町宿にいたる。

塩掛橋の道標 塩掛橋の西側にある排水ポンプ場の敷地の中に中山から大川瀬に至る文字が見える、24番札所中山寺から花山院を経由して25番清水寺への巡礼道の道標である。

広野排水ポンプ場 昭和50年ごろまではこの辺りの武庫川は天井川でこの地区は内水被害に会っていた。これを解消するために大規模の排水ポンプ場が設けられた。